

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	キャリアマネジメント論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1002
担 当 教 員	岸上 幸代	実務経験とその関連資格	視能訓練士として、視能検査、後輩の育成に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
グループワークを通しクラス全員で視能訓練士像を明確にし、その上で自身の課題やそれに対する具体的な行動を明確にしていきます。 また就職活動に必要な知識を学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート80% 平常点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
特になし						
《授業外における学習方法》						
グループワークが中心となりますので、積極的に授業へ参加してください。						
《履修に当たっての留意点》						
2年生の後期は就職活動について少しずつ考えていく時期です。自分自身と視能訓練士という職業の理解を深め、自分自身の将来について考える機会にしていきたいと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	SPI試験の概要を知る	iPad	SPI問題の復習	
		各コマにおける授業予定	授業概要説明、SPI模擬試験			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	働くことへの意識を高める	特になし	レポート課題	
		各コマにおける授業予定	働くとは			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分自身の強み・弱みを明確にする	特になし	レポート課題	
		各コマにおける授業予定	自分自身のことを知る			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	視能訓練士像を明確にする	特になし	レポート課題	
		各コマにおける授業予定	先輩視能訓練士からの講演			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分の課題点を明確にする	特になし	レポート課題	
		各コマにおける授業予定	視能訓練士に求められる力と自分の課題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	目指す視能訓練士像を明確にする	特になし	レポート課題 自身の長所・短所を次回に向けて考えてくる
		各コマにおける授業予定	目指す視能訓練士像とは、それに対して臨地実習Ⅱの目標		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己PRを述べることができる	特になし	特になし
		各コマにおける授業予定	履歴書作成		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	面接に必要な知識を得る	特になし	特になし
		各コマにおける授業予定	模擬面接		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			